

食を通して健全な児童生徒の育成に寄与します。



目的及び事業

(公財)京都市学校給食協会は、京都市立学校への学校給食用物資の調達・あっせんを通して、本市学校給食の充実・発展に資するとともに、食品添加物、アレルギー等食の安全や食材に関する情報の発信、地産地消・食育の取組等を推進し、児童生徒の健全育成に寄与することを目的とします。この目的を達成するため、次の事業を行なっています。

- (1) 学校給食用物資の調達・あっせん
- (2) 食の安全・食材に関する情報の発信
- (3) 地産地消・食育の推進
- (4) 学校給食実施上必要な研究、調査
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業



沿革

- 昭和22年 「京都府学校給食用資材配給組合」設立。
京都市での学校給食は、当時の連合軍からの寄贈物資による補給給食が始まりである。組合はこの物資を取り扱う機関として設立され、京都市学校給食協会の前身である。
- 昭和24年 「京都府学校給食会」設立。
前記組合を解散し、「京都府学校給食会」が設立され、京都市内の小学校も含め、各学校からの注文に応じ物資を届ける。
- 昭和35年 「京都市学校給食会」設立(京都府学校給食会から分離独立)。
- 昭和38年 「財団法人京都市学校給食協会」設立。「京都市学校給食会」を改組し財団法人となる。
- 昭和55年 京都市教育委員会によって事務棟・倉庫棟が建設され、現在地(右京区西京極宮ノ東町)に移転した。
- 平成8年 O157の発生を受け、冷蔵冷凍車による配送を実施。
- 平成13年 BSEに感染した牛が確認されたことを受け、納入業者に検査済書の提出を義務付ける。
- 平成23年 「公益財団法人京都市学校給食協会」設立。
「財団法人京都市学校給食協会」を改組し、公益財団法人となる。
- 平成27年 公益財団法人京都市学校給食協会のシンボルマークを制定。



私たちは、子どもたちの健やかな成長を願い、京都市独自の厳しい基準をクリアした給食用物資を安定的に学校にお届けします。